

みんなそろって 輪になって



◇本年度の重点目標

笑顔いっぱい!!できた!わかった!がんばった!自信がついた!

第4号 令和5年7月26日

「笑顔いっぱい」の1学期のご支援 ありがとうございました

校長 石山 輝



本日、1学期の終業式を迎えました。保護者や地域の皆様におかれましては、本校の教育活動の推進に対しまして、様々な場面でご支援いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

4月に素敵な新1年生37名を迎え、児童数179名でスタートした令和5年度の東神楽小学校。「笑顔いっぱい」を重点目標に据え、勉強に、運動に、友達との関わりに、文字通り笑顔いっぱい全力で取り組んできた子どもたち。この約4か月の間において、日々着実に成長が感じられた1学期となりました。

ここ数年、感染症への対応で様々な制限を受けながら過ごしてきた子どもたちも、5月8日の新型コロナ5類への移行後からは、少しずつ心も開放されはじめ、多くの笑顔を見ることができるようになってきました。6月からは3年振りとなる全校給食も再開できました。みんなとお話しながら笑顔で食べる給食は、本当に楽しそうで、「給食って楽しいな」との思いがどの子からも感じられるようになりました。

そんな「笑顔いっぱい」の子どもたちを支えていただいたのは、日々様々な教育活動において「笑顔いっぱい」でお手伝い、ご支援いただいた保護者・地域の皆様方です。環境整備では、農園作業や花壇の苗植え作業、松ぼっくり拾いなど、行事では、運動会のテント撤収や駐車場対応など、学習面では、生活科のゲストティーチャー、田植え体験やグリーンツーリズムなど、そのほか、毎日の登下校の見守りや読み聞かせなど、まだまだたくさんあるかと思いますが、日々の子どもの成長に多くの方々関わっていただいていること、また、いつも「笑顔いっぱい」で子どもたちに温かく接していただいていることに、改めて感謝申し上げます。

子どもたちが引き続き「笑顔いっぱい」で過ごしていけるよう、私たち職員一同、2学期もまた、しっかりと子どもたちと向き合いながら日々の教育活動に取り組んで参りますので、今後とも温かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。

◇職員「定時退勤日」の設定について

現在、様々な職種で働き方改革の取組が進められており、教員についても、民間労働者と同様に、時間外勤務は月45時間以内・年360時間以内と定められています。そのため、「東神楽町立学校における働き方改革アクションプラン」では、「定時退勤日を月2回以上実施する」ことを求めています。本校ではこれまで設定されておりました。



つきましては、2学期より第2・第4金曜日を「定時退勤日」として設定し、職員一人一人のワークライフバランス（仕事と生活の調和）を意識した働き方を推奨していくこととしておりますので、ご理解のほどお願い致します。

修学旅行

6月21日(水)・22日(木)に6年生の修学旅行(登別方面)を予定通り実施することができました。

1日目の登別伊達時代村では、江戸時代の雰囲気を楽しみました。お化け屋敷に「キャーキャー」と興奮気味。こけし絵付け体験では、色や模様を考えながら世界に一つだけのこけしキーホルダーを作りました。ホテルでは、美味しい食事と気持ちの良い温泉、友達との部屋での交流等で楽しむ姿が見られました。地獄谷やホテルで観光客に進んで挨拶する姿に感心しました。

2日目は登別マリンパークとウポポイでした。イルカのショーを楽しみました。ウポポイでは、民族共生についての事前学習から設定した個人の課題を追究しました。また、学芸員さんの話を聞くなどして学びを深めました。わずか一泊二日という日程でしたが、登別や白老の魅力を感じながら、主体性、協調性、社会性などが更に育まれました。ホテルゆもと登別のスタッフさんからは「こんなに時間を守れる学校は、めったにありません。食べ方もきれいで素晴らしいです。」とお褒めの言葉をいただきました。修学旅行を実施する上で、たくさんの方にお世話になり、ありがとうございました。



台湾視察団来校

7月11日(火)台湾から日本の食文化や給食事情についての視察団の皆様が20名本校を訪れました。佐々木くるみ栄養教諭が4年生で、「地産地消のよさについて考えよう」の授業をしました。



1年生のタブレット学習

7月10日(月)、1年生がロイロノートというアプリの基本的な使い方を6年生に教えてもらいました。テキストに指を使って文字を書いたり、撮影した写真を提出

箱に入れたり、あっという間に操作を覚えていました。今後もタブレット活用の幅を広げていけるよう指導していきます。



グリーンツーリズム(北川能園)

7月6日(木)、北川能園で4年生が農業体験をさせていただきました。命についてのお話(「作物は、子孫を残すために生きている」「生きている物は、死んだ物の栄養を、吸って生きている」「感謝の気持ちを込めて、いただきますを言ってほしい)を伺ったり、収穫体験(収穫→袋詰め→ピーマンの丸かじり)を、させてもらったりしました。また、おみやげとして、自分で収穫したピーマンをいただきました。体験後、子どもたちから「ピーマンのことが詳しくなりました。」「こんな素敵なピーマンを作りたいと思いました。」「ピーマンの育て方を参考に家で育てます。」「家でピーマンをおいしくいただきました。」「命についてのお話が分かりやすかったです。」「ピーマンの袋詰めが楽しかったです。」などの声がありました。



本の読み聞かせ

7月17日は、道民の日でした。北海道は先住民族であるアイヌの人々が生活していた土地です。7月の読み聞かせでは、アイヌ神話等の絵本「ほらみてごらん」「アイヌごであそぼう」「ひまなこなべ」「ちいさなくまのカムイのおはなし」「クマと少年」「パヨカカムイ」を読んでもらいました。どの学年の子どもたちも、自分たちの住んでいる北海道に、興味や関心をもちながら聞いていました。



校外学習

7月19日(水)、3年生は社会科で、ホクレンショップ東神楽店に出かけました。普段は関係者以外立ち入り禁止となっているバックヤードで魚を切り分ける部屋、肉を切り分ける部屋、品物をパックに入れる部屋、飲み物を冷やす部屋など、じっくり見せてもらったり、あらかじめ考えた質問を店長さんに、答えてもらったりして学びを深めました。



花壇・プランターに花の苗植え

GTA吉尾さん・石上さん・小川さん・南さん・八木さん・鈴木美洋子さん・前田大輔さん・前田珠妃さん・遠藤さん・高橋由佳さん・尾崎さん・森山さん・川内さん・丸田さんに支援していただき、児童約25名と一緒にコミュニケーションを取りながら楽しんで花の苗植えを行いました。その結果、玄関前が色鮮やかで素敵な環境になりました。

